

飲み会に“残業代”は、つけるべき？

のみかいに“ざんぎょうだい”は、つけるべき？

**Should drinking parties be paid overtime?**



Source — <http://bylines.news.yahoo.co.jp/kawaikaoru/20140117-00031711/>

Translations by [denis](#), [delimartplus](#), [defianthavok](#), [pterodactyl85](#), [gillysfg](#), [melenhead](#), [quickdrawkiddo](#), [yakultcat](#)

アベノミクスの影響なのかなんなのかわからないが、飲みにケーションが復活中だ。

あべのみくすのえいきょうなのかなんなのかわからないが、のみにけーしょんがふっかつちゅうだ。

I don't know if it's related to Abenomics or not, but after work drinking parties are experiencing a revival. — [denis](#)

復活 = revival

アベノミクス = Abenomics

新入社員を対象としたアンケートでも、8割近くが上司と飲みたいと回答し、会社の飲み会を計画する“上司”たちが増えている。

しんにゅうしゃいんをたいしょうとしたあんけーとでも、8わりちかくがじょうしとのみ  
たいとかいとうし、かいしゃののみかいをけいかくする”じょうし”たちがふえている。

In a survey of new employees, nearly 80% answered that they want to go drinking with their superiors, and a growing number of bosses are planning company drinking parties. — [denis](#)

会社	=	company
新入社員	=	new employees
アンケート	=	survey

---

上司と部下の親睦を深めよう！

じょうしとぶかのしんぼくをふかめよう！

Here's to deepening friendship between superiors and their underlings! — [delimartplus](#)

---

風通しのいい会社にしよう！

くうはくかぜとおしのいいかいしゃにしよう！

Strive for a company with good communication! — [delimartplus](#)

---

を合言葉に、コミュニケーションの場を飲み会に求めるのだ。

くうはくをあいことばに、こみゅにけーしょんのばをのみかいにもとめるのだ。

Under such slogans, they beg for drinking parties to be their place of communication. — [delimartplus](#)

---

ところが、飲み会の翌日、部下に思わぬ一言が、上司を青ざめさせた。

ところが、のみかいのよくじつ、ぶかにおもわぬひとことが、じょうしをあおざめさせた。

However, on the day after, bosses turn pale at a single unexpected sentence from their employees. — [delimartplus](#)

---

「昨日の飲み会って、残業代でるんですよね？

「きのうののみかいって、ざんぎょうだいであるんですよね？

"About yesterday's drinking party, we're getting paid overtime for that, right? — [delimartplus](#)

---

」

」

そう言われたのだ。

そういわれたのだ。

" They say. — [delimartplus](#)

was said. — [pterodactyl85](#)

そういわれたのだ — [gillysfg](#)

---

この上司も、部下と親睦を深めようと、全員参加の飲み会をやった。

このじょうしも、ぶかとしんぼくをふかめようと、ぜんいんさんかのみかいをやった。

And these are the bosses who make sure the drinking parties have full participation in order to enrich fellowship with their employees. — [delimartplus](#)

---

会費の一部は会社から出してもらったが、1人2000円の会費を取った。

かいひのいちぶはかいしゃからだしてもらったが、ひとり2000えんのかいひをとった。

Some of the cost is covered by the company, but they take 2000 yen per employee. — [delimartplus](#)

---

参加は強制ではなかった。

さんかはきょうせいではなかった。

Participation is not mandatory. — [delimartplus](#)

---

ところが、部下がこれに噛みついたのだ。

ところが、ぶかがこれにかみついたのだ。

Even though the employees snarl at it. — [delimartplus](#)

---

「上司から言われてやることは、すべて業務ですよね？」

「じょうしからいわれてやることは、すべてぎょうむですよね？」

"Isn't it our bosses who say that everything is work? — [delimartplus](#)

---

だって、部全員が参加すると言われたら、参加するしかない。

くうはくだって、ぶぜんいんがさんかするといわれたら、さんかするしかない。

After all, if everyone in the department says they're going to be there, you have to show up. — [delimartplus](#)

---

なぜ、楽しくもない飲み会に参加させられ、会費まで払わなければならないんですか？

なぜ、たのしくもないのみかいにさんかさせられ、かいひまではらわなければならないん

ですか？

Why do we have to pay to be forced to participate in a lame drinking party? —

[delimartplus](#)

---

当然、残業代が出るんだと思っていました」

くうはくとうぜん、ざんぎょうだいがでるんだとおもっていました」

Naturally, we thought we'd get paid overtime for this." — [delimartplus](#)

---

この部下の言い分に、上司は困惑。

このぶかのいいぶんに、じょうしはこんわく。

Bosses are baffled by these words from their inferiors. — [delimartplus](#)

---

「残業代なんて、出るわけがないだろう！

「ざんぎょうだいなんて、でるわけがないだろう！

"There's no way in hell they're getting paid overtime!" — [delimartplus](#)

---

」と、怒鳴りたい気持ちを抑え、部下を説得。

」と、どなりたいきもちをおさえ、ぶかをせつとく。

Well, they hold back such vocal feelings and just persuade their employees. —

[delimartplus](#)

---

下手なことを言うと、今度はパワハラだなんだと大問題になる可能性もある。

へたなことをいうと、こんどはばわはらだなんだとだいもんだいになるかのうせいもある。

While we're on the subject of untasteful matters, now harassment in the workplace is likely to become a big problem as well. — [delimartplus](#)

---

なので、彼には参加したくないときは断るようにと伝え、とりあえずその場は収まったそう。

なので、かれにはさんかしたくないときはことわるようにとつたえ、とりあえずそのばはおさまったそう。

Thus, when you try to tell him that you don't want to attend, it seems like the problem's solved for the time being. — [delimartplus](#)

---

上司は、「今どきの部下は……」と嘆いていたが、『飲みにケーション』なんて言葉ができた高度成長期には、あたかも会社の飲み会をすべての人が喜んでいたように語られるが、ホントにそうなのだろうか？

じょうしは、「いまどきのぶかは……」となげいていたが、「のみにけーしょん」なんてことばができたこうどせいちょうきには、あたかもかいしゃののみかいをすべ

てのひとがよろこんでいたようにかたられるが、ほんとにそうなのだろうか？

Your boss sighs. "Kids these days...", but in this day and age where a word like "Nominication" was able to come about, even when people speak as if all at once everyone was now rejoicing about their office drinking parties, is that really the case? — [delimartplus](#)

---

「残業代出してくれよ～。

「ざんぎょうよでしてくれよ～。

There's certainly people out there who think, — [delimartplus](#)

---

じゃなきゃ、やってられない！

じゃなきゃ、やってられない！

"Give me overtime! — [delimartplus](#)

---

」と思う人だっていたはずだ。

」とおもうひとだっていたはずだ。

No pay means no work!" — [delimartplus](#)

---

高度成長期であろうと、バブル期だろうと、上司の「飲みに行くぞ！

こうどせいちょうきであろうと、ばぶるきだろうと、じょうしの「のみにいくぞ！

Whether during the Japanese post-war economic miracle or the bubble years, bosses always had the last word in saying "Let's go drinking!" — [delimartplus](#)

---

」の鶴の一声で、彼女とのデートの約束をドタキャンせざるをえなくなり、飲みたくもない酒を飲まされ、歌いたくもないカラオケを歌わされ、飲みにケーションどころか、飲みにはラスメント（ん？

」のつるのひとこえで、かのじょとのでーとのやくそくをどたきゃんせざるをえなくなり、のみたくもないさけをのまされ、うたいたくもないからおけをうたわされ、のみにけーしょんどころか、のみにはらすめんと（ん？

and I'm sure there were employees sick and tired of being forced to cancel dates with their girlfriends at the last minute, drink alcohol that they didn't want to drink, sing karaoke that they didn't want to sing — [delimartplus](#)

---

ゴロが悪いか）に、疲れ果てていた部下たちはいたに違いない。

くうはくごろがわるいか）に、つかれはてていたぶかたちはいたにちがいない。

by nomi-harassment (What, that doesn't sound like fun?" let alone nominication. — [delimartplus](#)

---

私はCA（キャビンアテンダント）という、一般的な職場とはちょっとばかり



違ったところにいたのだけれど、それでも、断る術もないままに“上司”に飲み会に連れ回されることがあった。

わたくしはC A（きゃびんあてんだんと）という、いっぱんてきなしょくばとはちょっとばかりちがったところにいたのだけれど、それでも、ことわるすべもないままに“じょうし”にのみかいにつれまわされることがあった。

I'm a cabin attendant, so my usual work place changes from location to location, but even still, I've had to experience being dragged around to drinking parties by my boss without a way to say no. — [delimartplus](#)

---

上司の自慢話やら、人生訓みたいなものを散々聞かされ、「そうですね」攻撃に徹することで、なんとか乗り切った。

じょうしのじまんばなしやら、じんせいくんみたいなものをさんざんきかされ、「そうですね」こうげきにてっすることで、なんとかのりきった。

I've heard all of my boss's stories and attempts at sagely wisdom, and with "Ah, that's right, isn't it?" as my dedicated attack plan I was somehow able to survive. — [delimartplus](#)

---

おまけに、「若い＝よく食べる」という勝手な方程式のもと、半ば強制的に「若いんだから、食べなさいよ～」と、残った食事を食べさせられた。

おまけに、「わかい＝よくたべる」というかつてなほうていしきのもと、なかばきょうせいてきに「わかいんだから、たべなさいよ～」と、のこったしょくじをたべさせられた。

To make matters worse, I've also been forced to eat leftover food by the arbitrary rule of "young = big appetite". "You're young, so eat up!", they say. — [delimartplus](#)

---

「拷問だ……」。

「ごうもんだ・・・・・・・・」。

It's torture.... — [melenhead](#)

---

当時はそう思った。

とうじはそうおもった。

I thought so at the time. — [melenhead](#)

---

バブル時代を闊歩した新人類たちが、『残業代って出ますよね？

ばぶるじだいをかっぱしたしんじんるいたちが、「ざんぎょうだいってでますよね？

For the younger generation that waltzed its way through the bubble economy, "We're getting overtime for this, right?" — [delimartplus](#)

---

』と飲み会の翌日、上司に聞くことはなかったかもしれないけれども、心の中で

そう思っていた人はいたと思う。

」とのみかいのよくじつ、じょうしにきくことはなかったかもしれないけれども、ころのなかでそうおもっていたひとはいたとおもう。

is probably something they've never asked their bosses on the day after a drinking party, but I think just such a thought is residing inside their hearts. —

[delimartplus](#)

---

そもそもお酒が、上司と部下を“いい関係”にさせる潤滑油となっていた時代、会社は社員をまるで家族のように大切に扱っていた時代でもある。

そもそもおさが、じょうしとぶかを“いいかんけい”にさせるじゅんかつゆとなっていたじだい、かいしゃはしゃいんをまるでかぞくのようにたいせつにあつかつていたじだいでもある。

Originally, when alcohol became a lubricant for creating good relations between bosses and employees, companies also cherished their employees like family. —

[delimartplus](#)

---

「安心して働きなさい」と終身雇用していたし、「経験」という数字に反映されにくい力を、ちゃんと評価する年功序列という制度もあった。

「あんしんしてはたらきなさい」としゅうしんこようしていたし、「けいけん」というすうじにはんえいされにくいちからを、ちゃんとひょうかするねんこうじょれつというせいどももあった。

Life long employees were encouraged to "relax while you work", and the seniority system based on experience was able to effectively evaluate employee potential, usually a difficult value to assess. — [delimartplus](#)

---

数年前、ある会合で「社員は“家族”です...」と、自分がどれだけ社員のことを考え、どれだけ大切にしているかを、“家族”という実に便利な言葉で表現したある大企業のトップの方と対談をしたことがある。

すうねんまえ、あるかいごうで「しゃいんは“かぞく”です・・・」と、じぶんがどれだけしゃいんのことをかんがえ、どれだけたいせつにしているかを、“かぞく”というじつにべんりなことばでひょうげんしたあるだいきぎょうのとつぷのかたとたいだんをしたことがある。

A few years back, at a conference titled "Employees Are Family..." I had the opportunity to interview the senior executives of a company that made convenient use of the word "family" and ask them exactly how much they really think about and value their employees. — [delimartplus](#)

---

ところが、その対談の3カ月後。

ところが、そのたいだんの3かげつご。

Fast forward to three months after the interview. — [delimartplus](#)

---

その会社で大規模なリストラがあった。

そのかいしゃでだいきぼなりすとらがあった。

A large scale downsizing had taken place at that company. — [delimartplus](#)

---

表向きは希望退職を募ったものだった。

おもてむきはきぼうたいしょくをつのったものだった。

From the outside it was made to look like an increase in voluntary retirement. — [delimartplus](#)

---

だが、実際は生産ラインの従業員にターゲットを絞り、生産ラインの仕事を大幅に縮小し、希望退職者を募った。

だが、じっさいはせいさんらいんのじゅうぎょういんにたーげっとをしぼり、せいさんらいんのしごとをおおはばにしゅくしょうし、きぼうたいしょくしゃをつのった。

But in actuality they had targeted employees on the production line, made large cutbacks, and then had them voluntarily retire. — [delimartplus](#)

---

会社に行って、仕事もなければ居場所もない社員は、辞めるしかない。

かいしゃにいて、しごともないばいしょもないしゃいんは、やめるしかない。

I went to the company, but with no place to work and no employees, I had no choice but to quit. — [quickdrawkiddo](#)

---

When they showed up to work and found nothing to do, and thus no longer belonged, they had no choice but to quit. — [delimartplus](#)

---

彼らは、半ば強制的に“希望退職”をさせられたのだ。

かれらは、なかばきょうせいてきに“きぼうたいしょく”をさせられたのだ。

Their so-called "voluntary retirement" was at least partly compulsory. — [delimartplus](#)

---

家族に、リストラはあるのだろうか？

かぞくに、りすとらはあるのだろうか？

I wonder if families ever downsize? — [delimartplus](#)

---

家族のカタチが多様化している現代、家族のナニがリストラと呼べるのかを決めるのは難しい。

かぞくのかたちがたようかしているげんだい、かぞくのなにがりすとらとよべるのかをきめるのはむずかしい。



Nowadays, given that the shape of families has diversified, it's difficult to determine what exactly can be called downsizing in a family. — [delimartplus](#)

---

でも、少なくとも「大切な家族」を、理不尽に捨てることはしないはずだ。  
でも、すくなくとも「たいせつなかぞく」を、りふじんにすてることはしないはずだ。  
Nonetheless, at the very least one should not irrationally throw away "valuable members of a family". — [delimartplus](#)

---

“今の”日本の企業の多くは、社員を家族などと思ってはいない。  
“いまの”にっぽんのきぎょうのおおくは、しゃいんをかぞくなどとおもってはいない。  
For many of "today's" companies in Japan, employees are not thought of being anything like family. — [delimartplus](#)

---

だいたい、ホントに家族のように社員を大切にしている会社なら、親睦を深める目的の飲み会など必要ない。  
だいたい、ほんとにかぞくのようにしゃいんをたいせつにしているかいしゃなら、しんぼくをふかめるもくてきののみかいなどひつようない。

Generally speaking, a company that truly values its employees like family will not require drinking parties for the sake of deepening camaraderie. —

[delimartplus](#)

---

そういう会社では、わざわざ飲み会の場を設けなくとも、上司と部下という役職やヒエラルキーを越えた“人”としての、つながりがある。  
そういうかいしゃでは、わざわざのみかいのばをも一けなくとも、じょうしとぶかというやくしょくやひえらるきーをこえた“ひと”としての、つながりがある。

At those companies, even without deliberately established drinking parties, they have moved beyond the job titles of "superior" and "subordinate" and its hierarchy to a relationship based on "people". — [delimartplus](#)

---

酒の力など借りなくとも、ちゃんと互いに通じ合い、寄り添える瞬間が存在する。  
さけのちからなどかりなくとも、ちゃんとたがいにつうじあい、よりそえるしゅんかんがそんざいする。

Even without the power of alcohol they can communicate properly and are able to get to know each other better. — [delimartplus](#)

---

その先にたまたま、「じゃ、一杯やろうか」とか、「酒でも飲みながら、ちょっと話をするか」と、職場ではなかなか話することができないことやら、就業内では持てなかった時間を補うための飲み会がある。

そのさきにたまたま、「じゃ、いっぱいやろうか」とか、「さけでものみななら、ちょっとはなしをするか」と、しょくばではなかなかはなすことができないことや、しゅうぎょうないではもてなかったじかんをおぎなうためののみかいがある。

After that, they might every now and then say "How about we go out for drinks?" or "Wanna chat for a bit over drinks?" and have a drinking party to make up for lost time and the inability to have any sort of real conversation at work. — [delimartplus](#)

---

プラスα（アルファ）を補うために酒場を利用するから、飲みにケーションが意味をもつ。

ぷらすあるふぁ（あるふぁ）をおぎなうためにさかばをりようするから、のみにけーしょんがいみをもつ。

Because they're using the bars to compensate for this, nomination has meaning. — [delimartplus](#)

---

至極あたりまえの話なのだが、飲み会をやったからといって上司と部下の親睦が深まるわけじゃない。

しごくあたりまえのはなしなのだが、のみかいをやったからといってじょうしとぶかのしんぼくがふかまるわけじゃない。

Although it's very common to hear, just because you all went out for drinks doesn't mean that the bosses and employees are suddenly all best friends now. — [delimartplus](#)

---

職場で互いを尊重した対話があって、初めて「仕事以外のことの話ができる場＝飲み会」が心の距離感を縮めるのに役立つ。

しょくばでたがいをそんちょうしたたいわがあって、はじめて「しごといがいのことのはなしができるば＝のみかい」がこころのきよりかんをちぢめるのにやくだつ。

It comes up in mutual discussion at the workplace that drinking parties as "the place where we can talk about things outside of work" are, at first, useful for decreasing emotional distance. — [delimartplus](#)

---

もちろんときには、飲み会がきっかけとなり、職場でも話がしやすくなったり、コミュニケーションが上手く取れるようになるかもしれない。

もちろんときには、のみかいがきっかけとなり、しょくばでもはなしがしやすくなったり、こみゅにけーしょんがうまくとれるようになるかもしれない。

Of course there are times when a reason to have a drinking party comes about, and communication improves, and conversations at the office might even get easier. — [delimartplus](#)

---

でも、“上司部下のいい関係”は、上司が部下と1人の人間として、正面から向き合う意識なくして築けるものではない。

でも、“じょうしぶかのいいかんけい”は、じょうしがぶかとひとりのにんげんとして、しょうめんからむきあういしきなくしてきずけるものではない。

But good office relations are not something that is made up of bosses mindlessly treating their employees as individuals and meeting face-to-face. —

[delimartplus](#)

---

それは言い方を変えれば、部下と向き合う確固たる気持ちさえあれば、別に飲み会じゃなくてもいいということだ。

それはいいかたをかえれば、ぶかとむきあうかっこたるきもちさえあれば、べつにのみかいじゃなくてもいいということだ。

In other words, as long as you have the resolve to deal with employees face-to-face, you can get by without any drinking parties. — [delimartplus](#)

---

会議室であれ、食堂であれ、「部下と正面から向き合いたい」という気持ちさえあれば、どうにでもなる。

かいぎしつであれ、しょくどうであれ、「ぶかとしょうめんからむきあいたい」というきもちさえあれば、どうにでもなる。

Whether in the conference room or the cafeteria, as long as you have the emotional investment to say "I want to face my employees sincerely," then you can get there. — [delimartplus](#)

---

「いやあ、会議室じゃ、堅いっしょ」というのであれば、コンビニで買ったスナックを置くだけでも空気は変わる。

「いやあ、かいぎしつじゃ、かたいっしょ」というのであれば、コンビニで買ったすなックをおくだけでもくうきはかわる。

Even if you think, "No, not the conference room, it's too uptight," all it takes is a snack from the convenience store to change the mood. — [delimartplus](#)

---

ただ、これが結構めんどくさい。

ただ、これがけっこうめんどくさい。

But this is pretty bothersome. — [delimartplus](#)

---

1人の人間と正面から向き合うことほど、難しく、怖くもあり、めんどくさいことはないのである。

ひとりのにんげんとしょうめんからむきあうことほど、むずかしく、こわくもあり、めんどくさいことはないのである。

And as for handing employees as individuals, face-to-face, it's difficult, scary, and annoying. — [delimartplus](#)

---

だって、人と正面から向き合うと、イヤでも自分と向き合うことになる。  
だって、ひととしょうめんからむきあうと、いやでもじぶんとむきあうことになる。  
After all, facing an employee is like facing yourself, whether you want to or not.  
— [delimartplus](#)

---

自分の言葉や話、ときには自分の存在そのものが、相手の表情、ちょっとした仕草を通じて、うんざりするほどわかってしまうのだ。  
じぶんのことばやはなし、ときにはじぶんのそんざいそのものが、あいてのひょうじょう、ちょっとしたしぐさをつうじて、うんざりするほどわかってしまうのだ。  
By way of your employees' facial expressions and gestures you can understand your own words, stories, and even your very existence itself to the point that it's mind-numbing. — [delimartplus](#)

---

いずれにしても、部下と正面から向き合うことから逃げた人たちが、「コミュニケーションが足りない？  
いずれにしても、ぶかとしょうめんからむきあうことからにげたひとたちが、「こみゆにけーしょんがたりない？  
At any rate, those who run away from having to deal with their employees face to face — [delimartplus](#)

---

だったら、飲み会でもやるか！  
くうはくだったら、のみかいでもやるか！  
say "If our communication is lacking, then how about a drinking party?" — [delimartplus](#)

---

」と、安易に飲みケーションに走る。  
」と、あんいにのみけーしょんにはしる。  
and retreat back to the far easier nomination. — [delimartplus](#)

---

もちろん、飲みに行くのは悪いことじゃない。  
もちろん、のみにいくのはわるいことじゃない。  
Of course, to go drinking is not a bad thing. — [yakultcat](#)

---

でも、もし、部下との距離感を縮めるのが目的であるなら、お酒はいらない。  
でも、もし、ぶかとのきょりかんをちぢめるのがもくてきであるなら、おさけはいらない。

But supposing that the objective is to decrease the distance from their employees, then alcohol is not a requirement. — [delimartplus](#)

---

必要なのは「部下と1人の人間として向き合う」覚悟だけ。

ひつようなのは「ぶかとひとりのにんげんとしてむきあう」かくごだけ。

What is necessary is to resolve to treat each employee as an individual human being. — [delimartplus](#)

---

「でも、お酒が入ったほうがリラックスするし……」って？

「でも、おさけがはいったほうがりらくすすするしさんてんさんてん」って？

"But, alcohol helps you relax and stuff...", you say? — [delimartplus](#)

---

酒を飲んでリラックスするのは、上司だけ。

くうはくさけをのんでりらくすすするのは、じょうしだけ。

The only ones who get to drink and relax are the bosses. — [delimartplus](#)

---

部下は緊張するだけだ。

ぶかはきんちょうするだけだ。

The employees just get to worry. — [delimartplus](#)

---